

ドリップコーヒーマシン (Brewmatic, Curtis) の休業前・再開時の手順につきまして

コーヒーマシンの運転を休止する、再開する際の取り扱い手順につきましてご案内申し上げます。

■浄水器・浄軟水器のお取扱いにつきましては

※少なくとも 3 日に 1 回浄水器の水を通すフラッシングを 5 分以上行うことを推奨いたします。

※4週間以上マシンが停止した(フラッシングを行えない場合)時はカートリッジの交換を推奨いたします。

【ドリップコーヒーマシン】



1. コーヒーマシン休止前の手順

(1)マシンの主電源を OFF にしてください。

(2)しばらくしてからお湯を受ける容器をセットして、給湯(赤い)フォーセットやドレインからお湯が出なくなるまでお湯を抜いてください。※熱湯が出ますのでやけどに注意してください。

給湯フォーセットのある製品



背面にドレーンキャップやドレーンバルブのある製品 (EZ Brewer, EZ Thermo Brewer)

(背面のドレンネジを外すまたはバルブを開ける)



(3)可能であれば、コーヒーマシンの給水元栓を閉めて頂き、コンセントからプラグを抜いてください。

マシンの給水元栓(バルブ)を閉めます



バルブを横にします。

(※閉じている状態になります。)

コンセントからプラグを抜きます



2. コーヒーマシン再開時の手順

(1)コーヒーマシンの給水元栓を開ける前に、近くの水道から水を3リットル以上出してください。※水を長期間止めると水道管内にサビや汚れなどが滞留してしまうことがあります、滞留した不純物によりフィルター詰まりやマシンの故障の原因となる可能性がございますので、コーヒーマシンの元栓を開ける前に近くのシンクなどで水をしばらく出してください。



(2)給水の元栓を開き、コンセントにプラグを差し込んでマシンの主電源をONにしてください。

マシンの給水元栓(バルブ)を開けます



バルブを縦にします。
(※開いている状態になります。)

コンセントにプラグを差し込みます



※注意: EZ Brewer 、EZ Thermo Brewer



EZ Brewer は空焚きしないように、水を注いだ後に水がシャワーポートから出てくるのを確認した上で電源を入れてください。

(3)コーヒーマシンが立ち上りましたら、給湯フォーセットから添付表の推奨抽出量のお湯を出してください。
※お湯の色やにおいに異常を感じましたらコーヒーの抽出はせず弊社コールセンターへご連絡ください。

各製品の推奨抽出量

・サーモタイプ

| 機種名 | C-22 Thermo Brewer | B3 Thermo Brewer | EZ Thermo Brewer | G4 Thermo Pro Single 1GBrewer | G4 Thermo Pro Twin 1GBrewer |
|-----|---|---|---|--|---|
| |  |  |  |  |  |
| 容量 | 13L | 8L | 8L | 13L | 28L |

・デキャンタタイプ

| 機種名 | C-22 | B3 Decanter | EZ Brewer | CGC | ALPHA |
|-----|--|--|--|---|--|
| |  |  |  |  |  |
| 容量 | 8L | 8L | 8L | 8L | 8L |

・コンテナタイプ

| 機種名 | G4 GemX Twin Brewer | G4 Gemini Twin 1.5G Brewer | G4 Gemini Single 1.5G Brewer | G4 Gemini IF |
|-----|---|---|---|---|
| |  |  |  |  |
| 容量 | 28L | 21.7L | 10.3L | 28L |



※Seraphimにつきましては、お客様での水抜きが難しい為、ご希望の場合は、弊社コールセンターへご連絡いただきますようお願いいたします。

以上